

編集・発行：公益社団法人教育文化協会
〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台3-2-11 連合会館1F

tel 03-5295-5421 fax 03-5295-5422

URL <http://www.rengo-ilec.or.jp>

発行責任者：専務理事 木村裕士

第11回連合・ILEC幸せさがし文化展－働く仲間とその家族の公募展－ ～連合定期大会で表彰式と展覧会を開催～

「連合・ILEC幸せさがし文化展」は、働く仲間とその家族の文化活動の支援を目的に、絵画・写真・書道・俳句・川柳の5部門の公募展として開催しています。

第11回を迎えた今回の文化展には、全国から絵画の部に122点、写真の部に906点、書道の部に496点、俳句の部に1,620点、川柳の部に1,390点と、5部門を対象とする開催では、これまでで最多の4,534点のご応募をいただきました。

厳正な審査の末、各部門の入賞者を決定し、10月11日の連合第16回定期大会で入賞者を表彰しました。緊張の表彰式の後、表彰者のみなさんは、式にご臨席いただいた専門審査員の先生方と作品について和やかな雰囲気でご懇談を行いました。定期大会開催中は同会場地下1階展示室で入賞作品の展覧会を開催し、さらに、10月22日～27日には、東京芸術劇場アトリエイーストでも同作品の展覧会を開催して、多くの方々にご来場いただきました。

主な入賞作品と入賞者は次ページのとおりです。（全入賞作品は、ILECホームページでご覧いただけます。）



▲連合第16回定期大会表彰式には5名の入賞者が出席



▲展覧会場前にて 審査員の先生と受賞者



▲新宿文化センター 展覧会場



入賞作品集
頒布価格1000円＋税

連合大賞・ILEC大賞・シニア特別賞・ジュニア特別賞 入賞者・入賞作品

(敬称略)

絵画の部

○連合大賞	「食べること」	伊藤 希	北海道
○ILEC大賞	「新緑のバリ」	清水 亟悞	徳島県
○シニア特別賞	「ウミユカバ」	藤井喜久雄 (91才)	退職者連合 (島津退職者組合)
○ジュニア特別賞	「鳴門の風景」	庄野 真央 (11才)	徳島県

写真の部

○連合大賞	「海峡の春 (イカナゴ漁)」	ひろちゃん	電機連合 (オムロン労組OG)
○ILEC大賞	「雪あそび サイコ〜!!」	あきのり	全国ガス (京葉ガス労組)
○シニア特別賞	「朝日に浮ぶ」	葛川 義廣 (80才)	U A ゼンセン (オーミケンシ労組大垣支部OB)
○ジュニア特別賞	「ひかり」	小野真次郎 (8才)	神奈川県

書道の部

○連合大賞	「驚天動地」	矢内さおり	自動車総連 (ミツバ労組家族)
○ILEC大賞	「村行 (丘濬の詩)」	今泉 杏鵬	退職者連合 (NTT退職者の会青森県支部協議会)
○シニア特別賞	「雁塔聖教序臨書 (紺紙金泥)」	森下 桂石 (92才)	退職者連合 (全印刷局退職者の会)
○ジュニア特別賞	「感謝の心」	尾藤 ななみ (14才)	J A M (CKD労組家族)

俳句の部

○連合大賞	「この胸を敲いた妻も木の葉髪」	マッサン	兵庫県
○ILEC大賞	「オルゴールのやうな風の日卒業す」	藤崎由希子	福岡県
○シニア特別賞	「うららかやちょっと斜めにベレー帽」	高橋きくい (91才)	埼玉県
○ジュニア特別賞	「グローブのすき間から見る夏の雲」	吉田 恭 (14才)	北海道

川柳の部

○連合大賞	「母の日に花一輪の反抗期」	ほころん	埼玉県
○ILEC大賞	「古里のバスは「待って！」にバックする」	松下弘美	埼玉県
○シニア特別賞	「瀬戸のはる菜の花いろのお接待」	るそん亭 (85才)	大阪府
○ジュニア特別賞	「百点でママの優しさひとりじめ」	宮口 真緒 (12才)	自治労 (三重県職員組合家族)

～入賞作品は全作品ともILECホームページでご覧いただけます～

○絵画の部



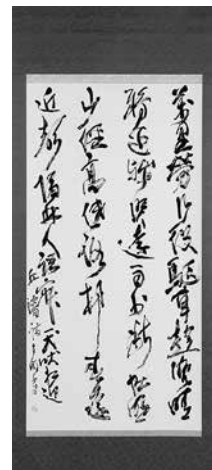
▲連合大賞 「食べること」
(佐藤 希)

○写真の部



▲ジュニア特別賞 「ひかり」
(小野真次郎)

○書道の部



◀ ILEC大賞 「村行 (丘濬の詩)」
(今泉 杏鵬)

第16回「私の提言－未来は私たちの手で変えられる 連合・労働組合が今取り組むべきこと」募集 ～5編の入賞提言が決定～

教育文化協会は、連合30周年プレ企画として、連合と共催で第16回「私の提言」を募集し、7月29日（月）の締め切りまでに45編の提言が寄せられました。9月17日（火）に開催した運営委員会（委員長＝教育文化協会・南雲理事長）で13名の運営委員による審査を行い、以下の5編の入賞提言を決定いたしました。

10月11日（金）の第16回・連合定期大会で表彰式が行われ、「学生特別賞」を受賞した藤井怜さんが入賞者を代表して出席しました。連合・神津里季生会長による賞状・副賞授与の後、藤井さんより提言に込めた思いが定期大会参加者へ伝えられました。連合岩手による岩手大学寄付講座を受講された藤井さんは、「教育無償化法」で低所得者層は高等教育が無償化となる一方で、中間所得層への支援がなくなることを危惧し、政策見直しについて連合や労働組合に期待していることなどを具体的に提起されました。

教育文化協会では、入賞提言5編を掲載した入賞提言集を発行し、会員組織に配布しています。あわせてホームページにも掲載しておりますのでぜひご覧ください。



▲神津会長より賞状・副賞を授与
(右端は岩手大学寄付講座担当
教授でもある河合墨准教授)



▲力強いスピーチを行う藤井さん

<入賞提言>

(敬称略)

賞	氏 名	所 属	提言タイトル
佳作賞	津崎 暁洋	キッコーマン労働組合 中央執行委員長	「『現代型労働組合活動』のすゝめ」 ～誰かが、ではなく全員で。～
	松岡 康司	情報労連 中央執行委員	第4次産業革命が進展した社会における労働運動課題 －労働組合こそ新情報技術の積極的な利活用を－
奨励賞	川尻 史朗	連合岐阜 中濃地域協議会 事務局長	労働組合組織における課題解決のための模索
	三橋 沙織	U A ゼンセン国際局	オンラインコミュニケーションの可能性 ～労働組合の輪を広げていくために～
学 生 特別賞	藤井 怜	岩手大学 人文社会科学部地域政策課程4年	「学ぶ機会の確保」と労働組合・連合 －奨学金の問題を中心に－

※優秀賞は該当なし

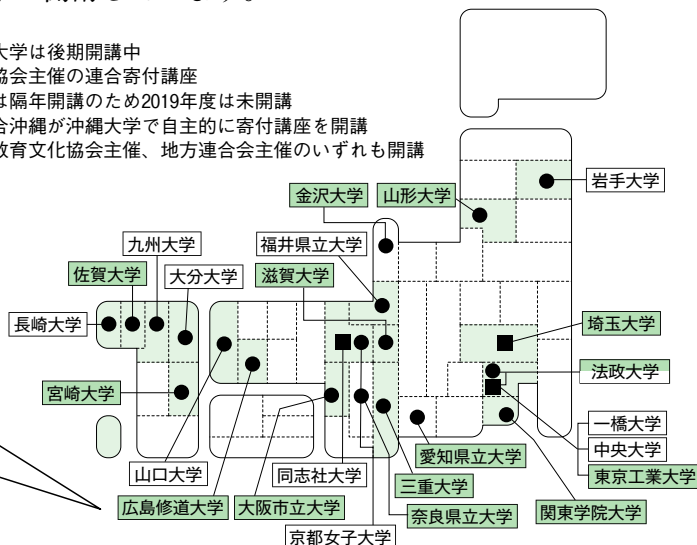
連合寄付講座の後期講義がスタート！ ～全国各地に広まる～

2005年にスタートした連合寄付講座は、今年で15年目を迎えました。現在は、教育文化協会主催の6大学と、地方連合会主催の19大学の計25大学で開講しています。

広島修道大学の講義の様子
講師：木村専務理事
日時：2019年9月26日



※アミ掛のある大学は後期開講中
※■は教育文化協会主催の連合寄付講座
※大阪市立大学は隔年開講のため2019年度は未開講
※このほか、連合沖縄が沖縄大学で自主的に寄付講座を開講
※法政大学は、教育文化協会主催、地方連合会主催のいずれも開講



地方連合会主催の連合寄付講座では、各地域の労働事情を踏まえた特色あるプログラムが組まれており、地方連合会の役員を中心とした労働運動の第一線で活躍する講師陣が講義を行っています。ILEC主催の後期は法政大学・埼玉大学・東京工業大学の3大学で開講しています（プログラムは下記・次頁参照）。

法政大学は今年で7年目を迎え、埼玉大学は今年で13年目となります。東京工業大学は、2019年の後期から大学院のリーダーシップ教育課程に新規開設しました。

法政大学・埼玉大学の連合寄付講座は聴講ができます。講義の聴講を希望される方は、ILECホームページよりお申し込み下さい。

連合寄付講座は連合、連合構成組織、地方連合会のご協力なしには企画・運営できない事業です。今後も引き続きのご支援をお願いいたします。

2019年度東京工業大学大学院 連合寄附講義プログラム

『理工系学生のためのワークルール入門Ⅰ』

回	日程	講義テーマ	ゲストスピーカー
1	9/30	イントロダクション	西田 亮介 東京工業大学 准教授
2	10/7	【課題提起】 ・連合寄付講座について ・働く者を取り巻く情勢と課題	木村 裕士 教育文化協会 専務理事
3	10/21	【教員による論点整理①】	西田 亮介 東京工業大学 准教授
4	10/28	【ワークルールに関する基礎知識①】 ・ワークルール模擬試験 ・労働相談から見る職場の現状	石黒 生子 前連合非正規労働センター 総合局長
5	11/4	【ワークルールに関する基礎知識②】 ・労働時間・休暇取得・働き方改革関連法 ・労働契約・就業規則・賃金	石黒 生子 前連合非正規労働センター 総合局長
6	11/11	【教員による論点整理②】	西田 亮介 東京工業大学 准教授
7	11/18	【総括講義】 連合事務局長による課題提起 (連合が果たすべき役割、働き方改革など)	相原 康伸 連合 事務局長

『理工系学生のためのワークルール入門Ⅱ』

回	日程	講義テーマ	ゲストスピーカー
1	12/2	イントロダクション	西田 亮介 東京工業大学 准教授
2	12/9	【課題提起】 「働くこと」について考える	高木 郁朗 日本女子大学 名誉教授
3	12/16	【ケーススタディ①】 職場の声を集める (職場の課題改善に向けた取り組み)	大園 敦 アルプス技研労働組合 執行委員長
4	12/23	【ケーススタディ②】 働き方と賃金 (企業における賃金決定のプロセス)	伊藤 彰英 基幹労連 事務局次長
5	1/6	【教員による論点整理①】	西田 亮介 東京工業大学 准教授
6	1/20	【修了講義】 連合会長の課題提起 (東工大の学生に期待することなど)	神津 里季生 連合 会長
7	1/27	【ケーススタディ③】 グローバル化への対応 (国際労働問題の具体事例を中心に)	西原 浩一郎 JCM顧問
8	2/3	【教員による論点整理②】	西田 亮介 東京工業大学 准教授

※講義時間は、月曜日 13:20～14:50

2019年度法政大学 秋学期「連合寄付講座：働くということと労働組合」プログラム

回	日程	講義テーマ	ゲストスピーカー
1	9/24	【オリエンテーション】労働組合とは何か	法政大学 教員
2	10/1	【開講の辞】 連合寄付講座で法政大学の皆さんに学んでほしいこと 【課題提起①】「働くこと」について考える ～労働組合の役割と意義～	木村 裕士 教育文化協会 専務理事
3	10/8	【課題提起②】いま働く現場で何が起きているのか ～労働相談からみた若者雇用の現状～	石黒 生子 連合 非正規労働センター総局長
4	10/15	【ケーススタディ①】 非正規労働者の組織化と処遇改善に向けた取り組み	泉澤 匡範 イオンリテールワーカーズユニオン 中央執行書記長
5	10/22	【ケーススタディ②】労働組合の役割と組合役員の活動 ～現場の意見集約から職場の課題改善をめざす～	岡本 賢治 帝国ホテル労働組合 中央執行委員長
6	10/29	【ケーススタディ③】 労働時間の短縮に向けた取り組み	山本 由美 日本生命労働組合 副委員長
7	11/5	【ケーススタディ④】雇用と生活を守る取り組み	川野 英樹 JAM 副書記長
8	11/12	【ケーススタディ⑤】 男女がともに働きやすい職場づくりに向けた取り組み	小出真理子 全労金 書記次長
9	11/19	【ケーススタディ⑥】 公務労働の現状と公共サービスの役割	榎本 朋子 自治労 総合企画総務局長
10	11/26	【課題への対応①】 労働諸条件の維持・向上に向けた取り組み	富田 珠代 連合 総合政策推進局長
11	12/3	【課題への対応②】国際労働運動の役割 ～グローバルイニシアチブへの対応～	西原浩一郎 JCM 顧問
12	12/10	【課題への対応③】 労働者保護ルールの堅持・強化に向けた取り組み	石田 昭浩 連合 副事務局長
13	12/17	【論点整理】「働くということ」と労働組合	法政大学 教員
14	1/14	【修了講義】連合運動の現在と未来 ～これから社会へ出る皆さんへ～	相原 康伸 連合 事務局長 【コーディネーター】法政大学 教員

※講義時間は、火曜日15：00～16：40

2019年度埼玉大学 第4ターム「連合寄付講座：働くということと労働組合」プログラム

回	日程	講義テーマ	ゲストスピーカー
1	12/4	【開講の辞】 連合寄付講座において埼玉大生に学んで欲しいこと 労働者を取り巻く現状と課題を知る ～労働組合が果たすべき役割とは	木村 裕士 教育文化協会 専務理事
2		「働くということ」をどうとらえるか	高木 郁朗 日本女子大学名誉教授
3	12/11	労働相談から見た働く現場の現状と労働組合の取り組み	山本 和代 連合 フェアワーク推進センター 総局長
4		労働組合をつくる	亀本 伸彦 ワタミメンバーズアライアンス 中央執行委員長
5	12/18	組合員の処遇改善に向けた取り組み	鈴木 政則 UDトラックス労働組合 書記長
6		非正規雇用労働者の処遇改善をすすめる	中野 富夫 NTT労働組合 中央本部交渉政策部長
7	1/8	仕事と生活の両立に向けた取り組み	日下部大樹 生保労連 書記長
8		雇用を守る－労働組合による政策づくり	松永 次央 全自交労連 書記長
9	1/15	多様な人材の活躍を推進する ～外国人労働者の組織化・処遇改善の事例を中心に～	香川 功 連合大阪 副事務局長
10		地域で雇用と生活を守る	連合埼玉
11	1/22	連合の賃金に関する取り組み	富田 珠代 連合 総合政策推進局長
12		国際労働運動の課題と対応	鈴木 則之 前ITUC－AP書記長
13		労働者保護ルールの維持・強化に向けた取り組み	連合
14	1/29	【修了講義】 「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて	神津里季生 連合 会長
15	2/5	教員によるまとめ	金井 郁 埼玉大学准教授

※講義時間は、水曜日14：40～16：10・16：20～17：50

Rengoアカデミー・第18回マスターコース

～24名が1年におよぶプログラムを修了～

教育文化協会は、「Rengoアカデミー・第18回マスターコース」の修了式を、10月3日（木）に連合会館で開催しました。24名の修了生が、2018年11月の開講から約1年にわたるプログラムを修了しました。

南雲理事長による主催者挨拶の後、Rengoアカデミー校長でもある連合・神津会長より、出席した修了生一人ひとりに修了証が手渡されました。その後、中村圭介教務委員長からの講評を受け、受講生を代表して毛塚ゼミの長江彰さんから謝辞が述べられました。

修了式後の懇談会では、ゼミナールの先生方や修了生の出身組織代表者の皆様からも激励のメッセージをいただきました。

修了生の皆様の今後のご活躍を祈念するとともに、受講生を送り出していただいた各組織のご協力に感謝いたします。



修了論文報告会で受講生が修了論文の要旨を発表

修了式の前段に修了論文報告会が行われ、参加した23名の受講生が、修了論文の要旨と今後の決意を発表しました。各受講生の論文テーマは以下に記載の通り多岐にわたり、今後、組合活動を力強く推進していくための熱意溢れる内容となっています。

修了論文の内容につきましては、修了論文集を発行し、会員組織に配布しています。あわせてホームページにも論文概要を掲載しておりますのでぜひご覧ください。



▲終了論文報告会の様子

<Rengoアカデミー・第18回マスターコース修了生>

(敬称略)

ゼミ	氏 名	論文テーマ	ゼミ	氏 名	論文テーマ
禹ゼミ	一木 洋佑 (労金協会)	労働組合組織率低下の政治的要因	毛塚ゼミ	中根 雅希 (連合愛知)	平成春闘はどう変化したのか
	小川 一馬 (電力総連)	東京電力労働組合における青年活動のあり方について		堀内 克哉 (JAM)	すべての働く者が影響を受ける「労働法」と労働組合はどう向き合うべきなのか
	加藤 岳 (JILAF)	国際労働運動におけるJILAF招へい事業の現状と課題	高木ゼミ	奥田 龍一 (U A ゼンセン)	複合産別U A ゼンセンの多様性と組織力について
	川邊 竜次 (自動車総連)	労働組合組織の職場役員育成の在り方		野城 公良 (日教組)	共助機能としての日本教職員組合とその展望
	田村 史生 (国公連合)	日本における高度外国人材の受入れと定着に向けて		南方 健志 (電機連合)	第4次産業革命に伴う雇用への影響
木本ゼミ	梅田 貴史 (情報労連)	通信建設業における労働安全衛生の確立に向けて		吉田 歩 (基幹労連)	労働組合における政治活動の充実と組織内議員の擁立に向けて
	榎本 明 (全労済)	奨学金問題の現状と課題		吉田 泰 (連合東京)	労働団体の政策実現活動
	岡田 絵里 (JP労組)	女性労組役員の拡大に向けて	橋元ゼミ	坪 康太 (労済労連)	不妊治療と仕事の両立に向けた課題と労働組合が果たすべき役割
	松井 裕一 (連合本部)	世論の共感を得る労働運動をめざして		荒木 剛 (電力総連)	建設業労使の活動の在り方
毛塚ゼミ	岡 裕司 (自動車総連)	長時間労働の実態と削減に向けて		大澤 健 (連合東京)	T労働組合における今後の組織強化と人材育成について
	勝又 紀智 (印刷労連)	LGBTと労働組合の向き合い方		鈴木亜紗実 (JEC連合)	労働組合のブランド戦略
	長江 彰 (連合本部)	これからの介護人材確保策に求められること		登尾 直樹 (情報労連)	労働組合の果たすべき役割と求められる活動

一定時総会・理事会を開催

教育文化協会は、2019年9月10日に連合会館において、第7回定時総会を開催しました。定時総会では、（公財）日本労働文化財団との統合およびその統合にかかる契約書、また2018年度（2018年7月1日～2019年6月30日）決算および2019年度の役員報酬総額、役員を選任の5議案について提案され、いずれも提案通り承認されました。

これに先立ち、同年6月18日の第29回理事会において、（公財）日本労働文化財団との統合、2019年度（2019年7月1日～2020年6月30日）事業計画・収支予算、特別寄附金の受領、役員報酬総額の5議案が提案され、いずれも提案通り承認されました。

2019年度は、引き続き、本協会の事業目的の達成に向けた取り組みを通じて、労働運動を担う人材育成、労働教育に対するニーズに応えるべく、各事業の質的充実に努めて参ります。

※2018年度事業報告・決算報告および2019年度事業計画・収支予算は、ホームページに掲載しています。

公益社団法人教育文化協会 理事・監事・顧問一覧

理事（26名）

2019年9月10日時点

役職名	氏 名	所属団体・役職（職業）	役職名	氏 名	所属団体・役職（職業）
理 事 長	南雲 弘行	教育文化協会 理事長	理 事	北野 眞一	情報労連 書記長
副理事長	相原 康伸	連合 事務局長	理 事	難波 淳介	運輸労連 委員長
専務理事	木村 裕士	教育文化協会 専務理事	理 事	田野辺耕一	私鉄総連 委員長
常任理事	村杉 直美	教育文化協会 常任理事	理 事	松谷 和重	フード連合 前会長
理 事	八野 正一	UAゼンセン 副会長	理 事	酒向 清	J E C 連合 会長
理 事	船山 整	自治労 前総合企画総務局長	理 事	山口 浩一	交通労連 前委員長
理 事	金子 晃浩	自動車総連 事務局長	理 事	立川 博行	海員組合 政策局長
理 事	神保 政史	電機連合 書記長	理 事	佐藤 憲仁	労金協会 常務理事
理 事	椎木 盛夫	JAM 副書記長	理 事	濱田 毅司	全労済 常務執行役員
理 事	和田口具視	基幹労連 副委員長	理 事	新谷 信幸	連合総研 専務理事
理 事	増田 光儀	JP労組 委員長	理 事	塩田 正行	国際労働財団 常務理事
理 事	清水 秀行	日教組 書記長	理 事	中村 圭介	法政大学院連帯社会 インスティテュート教授
理 事	岸本 薫	電力総連 前会長	理 事	廣瀬真理子	東海大学 教授

監事（3名）

役職名	氏 名	所属団体・役職（職業）	役職名	氏 名	所属団体・役職（職業）
監 事	下田 祐二	連合 総合総務財政局長	監 事	岩田 一喜	公認会計士・税理士
監 事	大北 隆典	生保労連 前委員長			

顧問（5名）

役職名	氏 名	所属団体・役職（職業）	役職名	氏 名	所属団体・役職（職業）
顧 問	西村 寿紀	元 専務理事	顧 問	岡部 謙治	前 理事長
顧 問	須藤 安三	元 副理事長	顧 問	古賀 伸明	前 R e n g o アカデミー校長
顧 問	高木 剛	元 R e n g o アカデミー校長			

第7回定時総会にて次の役員が退任しました。

（前）理事 柴田 謙司（情報労連 前書記長）

理事 平川 純二（J E C 連合 前会長）

在任中ひとかなならぬご厚誼を賜り、心より感謝申し上げます。

「ワークルール検定2019・秋」のご案内

働くときに必要な法律や決まりである「ワークルール」に関する知識を身につけたいという社会的なニーズの高まりを受け、労働法に関わる一般的な知識について検定を行う「ワークルール検定」が、(一社)日本ワークルール検定協会の主催で2013年から実施されています。

教育文化協会は、連合や中央労福協などとともに、本検定の運営に参画しながら、その展開・拡大に取り組んでいます。

次回は、2019年11月23日(土・勤労感謝の日)に初級検定が実施されます。全国23会場で一斉開催いたします。お近くの受検会場でぜひ検定に挑戦してください。

URL: <http://workrule-kentei.jp/>



前回開催の様子

第19回Rengoアカデミー・マスターコースのご案内

Rengoアカデミー・マスターコースは、労働運動・社会運動の将来を担うリーダーの育成を目的に、年間をととして、前期6日間、後期6日間の集中合宿を基本に、必修ゼミもおこないながら、担当講師の指導のもと修了論文をまとめて1年間で修了するプログラムです。

第19回を11月17日(日)より開講いたします。今年も各組織のご支援をいただき運営してまいります。

事務局より 退任・着任者からのご挨拶

□3年間本当にお世話になりました。教育文化協会の事業を通じて多くの方と出会えたことは一生の財産です。一緒に仕事させていただいた協会会員組織と地方連合会、有識者の皆様に心から感謝申し上げます。引き続き産別の立場から、労働運動に関わって参りたいと思いますので、今後ともご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

(近藤洋平ディレクター…生保労連へ復帰)

□生保労連からの派遣で、9月1日付で着任いたしました。第16回Rengoアカデミー・マスターコースを受講した際は、自分が運営側になるとは思っていませんでしたので、新鮮な気持ちでいっぱいです。これからILECの事務局として、様々な事業を通じ、多くのみなさまと一緒に仕事ができることをとても楽しみにしています。どうぞよろしくお願いいたします。

(篠原明穂ディレクター…生保労連より派遣)

編集後記

度重なる自然災害により被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早く平常の生活に戻ることができるようお祈り申し上げます。

(ILEC一同)